

## シームレス地すべり地形 GIS データの作成 Preparation of seamless landslide GIS data

内山 庄一郎<sup>1\*</sup>, 土志田 正二<sup>1</sup>  
Shoichiro Uchiyama<sup>1\*</sup>, Shoji Doshida<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 独立行政法人 防災科学技術研究所

<sup>1</sup> National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

防災科学技術研究所において 1982 年から 32 年間続く 1:50,000 地すべり地形分布図の作成は、2013 年度をもって完結する。2013 年 3 月現在までに空中写真判読によって抽出した全国の地すべり地形の総数は 37 万箇所を超える。判読を終えた全ての地すべり地形は、5 万分の 1 縮尺の分布図として刊行するだけでなく、地すべり地形 GIS データとして作成し、地理空間情報の提供と OGC プロトコルによるデータ配信を行っている。2012 年度の中ごろから、地すべり地形 GIS データの大規模な修正作業に着手した。修正作業の主な対象は、1) 印刷図の境界にまたがる地すべり地形が複数に分割される問題、2) 2005 年以前のデータ入力精度が悪い問題、3) 属性データに異常値が存在する問題である。データ修正は、入力技術者が手作業で実施した。1 万箇所を超えるデータの修正・編集を実施し、地すべり地形が分割される問題は著しく改善された。この結果、日本全国のシームレスな地すべり地形 GIS データを作成した。この成果は、地すべり地形分布図データベース Web サイトにて、日本全国一括データとして公開している。修正作業は現在も継続しており、月に一回程度、修正結果を反映したデータのアップデートを行っている。2013 年度中に、位置および形状の精度を高め、信頼性の高い完全なシームレスデータを完成させる。

キーワード: 地すべり地形 GIS データ, シームレス化, 大規模修正, データ公開

Keywords: Landslide GIS data, Seamless data, Major revise, Data release